

三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2018年11月17日（土）15:00～17:20

場 所：小網代ヨットクラブ クラブハウス

出席者：理 事：飯島、伊藤、尾山、北川、小板橋、児玉、才藤、坂口、庄野、新通、外山、三輪

監 事：望月

顧 問：大谷

出席 理事12名 監事1名 顧問1名

欠席者：理 事：小川、黒岩、関根、羽柴、平松、星野

監 事：藤田

（敬称略）

庄野会長が議長、尾山理事が進行役となり、議事録作成人に北川理事、同署名人に飯島理事を指名して、下記議案につき審議した

1. 日本パラオ親善レース共同主催依頼について

前回理事会より、安全面、事故対応などで継続審議となっている本件について、外洋三崎の新田会長から直接の説明を受け質疑を交わし、共同主催につき審議し、MOSCとして共同主催を受けることに満場一致で可決した。

2. 安全委員会特別予算の企画・実施について

児玉理事から、安全講習会について諮られた。

カテゴリ-4はインショアレースであり相模湾においては初島もカテゴリ-3レースなので、多少でも外洋レースに参加しようという会員にはカテゴリ-3についてももう少し理解してほしいと思い安全講習会を企画中である。

2019年1月19日（土）13時から3時間、小網代ヨットクラブで開催予定と決定した。

当日は大潮の満潮であり、カテゴリ-3の装備が整っている実際の艇を使用する予定。

児玉理事から、貸し出し用ライフラフトの整備について諮られた。

安全委員会の基金でライフラフトを購入して会員、非会員にレンタルしたいと思う。臨時航行許可を取って、島巡りクルージングなどに使ってもらいたい。

ライフラフトは持っているが整備しないで保管しているなどの事情のものがあれば、寄付いただいて安全委員会の基金で整備して貸し出すという方法もある。

定期検査に合わせて3年に一度展開訓練もできる。

予算やレンタル料金案が提示された。MOSCとして利益を上げる必要はないが、ある程度の収支予測を出して会員に示す必要があるとされた。

3. みさきヨット・リモート局の小網代ヨットクラブからシーボニアマリーナへの移設について

児玉理事、新通理事、外山理事から、小網代ヨットクラブにあるみさきヨット・リモート局の

シーボニアマリーナ、シーボニアヨットクラブへの移設に関して、リビエラ・リゾート社事務所内への部外者立ち入りに難があり移設は無理であると報告され、現時点では現状のままということでした。

各理事から、シーボニアマリーナのノーススターとスコープアスがみさきヨットに加入しているならレースでぜひ71chを活用してほしい、加入していないなら加入してほしいと提案された。

4. 同上 長期修繕計画作成検討について

この場で、後記 8. 報告事項第3号 みさきヨット会計報告がされた。

事務局経費を低く請求いただき、収支決算は6万9千円の黒字となった。本来の報酬を支払えば、2万円少々の利益となり、これでは修繕など不意な出費に対応できない。

無線局の検査更新費用はかかるが、通常運用で無線機が壊れることはほぼない。もし予定外の修繕が必要になれば、MOSC、外洋三崎、外洋湘南で分担して支払うと覚え書きになっているが、引当金の取り決めはない。みさきヨットの会計は独立しているので、見通しを立ててみさきヨットで余剰金を積み立てていくのが基本。

みさきヨット自身が運用されている事が重要なのではなく、艇が加盟して71chを利用できる状態である事が重要。もし雷が落ちて設備すべてが破損してしまったなどの時は、外洋3団体で話し合い、1~2年を掛けてゆっくり復旧してもいい。

みさきヨットへの加入艇データベース完成まであと約3年必要。3年後に予算案が作成できるので、3年後から検討することで承認された。

5. 広報委員会設置について

web、会報誌配布、関根事務局長の負担軽減につながる話し合いをしたい。本日は事務局長欠席のため、議長から、次回理事会までにもっと具体的な内容を検討して提案することとなった。

6. 理事会の定足数不足への対応について

議長から、理事会開催時の定足数不足への対応方法を決めておきたいと諮られた。

理事会の定足数および議決については、会則30条第3項で、第26条第3項を準用する定めとなっており、理事会に出席できない理事は議決権行使書により議決に参加し、又は他の出席する理事に議決権の行使を委任することができる、とあるので、委任状を他の出席理事に付託することで出席したものと看做されることが判明した。議決権行使書、委任状の提出は電子メールも有効であると確認された。

7. ルール勉強会について

三輪理事から、関東4団体合同開催のルール勉強会開催について諮られた。

2019年2月または3月の平日夕方、都内にて、内容は「今さら聞けないシリーズ」に準じた楽しいものとして企画する。日時、内容等について三輪理事を中心に調整することとなった。

8. 報告事項

1. 9月29日 全国外洋系団体長会議・事務局長会議について

議長から、開催当日は台風24号接近のため会長・事務局長は欠席となったこと、会議内容については開催の後に配られた報告書の通りであると報告された。

2. レース報告

共同主催 ヨコヤマカップ

北川理事から、18艇の参加、パーティー84名で事故なく楽しく開催できたこと、レース結果、パーティー内容が報告された。

共同主催 若大将カップ

新通理事から、クルーザー80艇、ディンギー62艇、パーティーは1000名近い方々に楽しんでいただいたこと、詳細なレース、パーティー内容が報告された。

主催 小網代カップ

飯島理事から、13艇の参加があったこと、レース内容、結果などが報告された。

以前はVHFロールコールの時の位置情報しかわからなかったが、AIS搭載艇が増えてきており、艇団の位置をほとんどの時間把握することができて安心感があったと報告された。

3. みさきヨット2018年9月会計決算報告

第4号議案審議中に、決算報告がなされて承認された。

9. その他

1. 役員の生年月日の確認

議長から、直接確認すると報告された。

2. 2019年湘南レースについて

飯島理事から、この理事会のあと打ち合わせがあると報告された。

3. 2019年9月以降の理事会日程について

下記の通り開催することとなった。

2019年 9/10(火)、11/12(火)

2020年 1/14(火)、3/10(火)、4/22(水)、5/12(火)(総会前理事会、総会)

4. 三輪理事から、セーリングワールドカップのジュリーセグretarioとして参加した際の運営システムの報告があった。

5. 2019年2月の外洋合同委員会は、各委員長が参加することが原則であると確認された。

6. 小板橋理事から、12月6日表参道、関東外洋4団体の忘年会について案内があった。各団体15名以上の参加要請、MOSC理事は参加が原則と報告された。
児玉理事から、12月4日代官山、小網代ヨットクラブ・タウンパーティについて案内があった。

以上で本日の議事をすべて終了し、17時20分閉会した。

以 上

2018年 月 日

議事録署名人